

令和5年度対象

榛東村教育委員会
事務点検・評価報告書

令和6年8月
榛東村教育委員会

1.はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、平成20年4月から施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和5年度の教育委員会事務の点検及び評価の結果について報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)○

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2.点検及び評価の対象

評価の対象の事務事業は、前年度分を対象としたもので、今年度は令和5年度に執行した事業を対象として評価を行いました。

3.内部評価

I.学校教育等に関する事務事業

① 庶務・学校教育における事業

1 教育委員会の開催

合議制の執行機関として、その役割と責任を果たすために定例委員会を12回、臨時会を7回開催した。

2 学校(園)訪問

小中学校や幼稚園を訪問して、教育課程の適切な実施や学習指導、その他学校教育に関する指導・助言を行った。

3 学校施設等整備事業

- ・ 南小学校長寿命化改修工事
- ・ 榛東中学校物置撤去改修工事

4 校園長会議の開催

小中学校長・幼稚園長の会議を年間 10 回開催。また、必要に応じ随時開催した。

5 榛東村教育研究所研究部

教育研究所研究部内に「授業改革推進協議会」を設置し、研究を行った。

6 ぐんぐんスクール・ぐんぐん土曜塾・ぐんぐんサマー塾

児童・生徒への基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、学習への興味・関心がもてるようにするため、小中学校の全学年を対象に学習する場を提供し、個別指導を行った。

7 人権(同和)教育講演会

教育講演会を通して、人権(同和)教育に必要な技能と資質の向上を図った。

8 人権(同和)教育公開授業(保育)研究会

南小学校を研究校として公開授業研究会を実施するとともに、各校園の人権(同和)教育の取組を交流し、充実及び啓発活動の推進を図った。

9 幼稚園・こども園・保育園・小学校及び小学校・中学校情報交換会

小学校1年及び中学校1年の児童生徒にかかわる諸課題や支援方法について情報交換及び協議することにより、入学時において校種間のスムーズな移行が図れるようにした。

10 幼稚園・こども園・保育園・小学校連携協議会

幼稚園・小学校の教職員とこども園・保育園の保育教諭・保育士が、小学校入学時における子どもの成長の様子を受け止め方や指導の在り方について相互理解と連携強化を図った。

11 いじめ防止子ども会議

中学校区等の小学生・中学生の代表が、各校の実践発表を行うとともに、子どもたちに教育委員及び各校の保護者も交えた協議を行い、いじめをなくすために子どもたちができることについて協議をした。

② 学校給食センターにおける事業

1 給食業務

学校給食法の目的及び目標に基づき、幼稚園児、小・中学校の児童生徒及び教職員等への完全給食を実施。調理・配送業務等を民間委託とし、作業工程表に基づき調理・配送・洗浄作業を実施し、作業効率の改善を図った。

異物混入を防止するため、食品の検品・洗浄作業に注意を払い、また、施設及び調理器具の総点検を実施し、必要に応じて修繕・買換えを行った。

食中毒を防止するため、調理器具等の洗浄・消毒、調理品の温度管理、調理員の手洗いを徹底。また、各種衛生検査を実施し、職員に対して研修を行うことで、衛生管理についての意識を高めた。

給食だよりの発行・給食時間の放送を通して、食に関する様々な知識や情報を提供した。また、地域の特色を生かした郷土食や、季節の行事に由来した行事食等を献立に取り入れることで、日本の伝統的な食文化に対し理解を深められるよう努めた。

II.社会教育に関する事務事業

③ 生涯学習における事業

1 社会教育委員会議等

社会教育委員会議では、新設建設予定地、中央公民館及び耳飾り館といった村有施設及び生涯学習事業の視察や、吉岡町文化センター及び吉岡町における生涯学習事業の視察を行い、村内外の事業の現状把握を行った。

委員の改選、新たな研究内容の設定に伴い、群馬県中部教育事務所から講師を招き、「社会教育委員の役割」について講演を行った。講演を踏まえたワークショップを行い、委員から生涯学習についての課題や理想、また、課題解決に向けて社会教育委員が取り組むべきことの共有を図った。

研修会等への参加については、群馬県新任社会教育委員研修会、中部地区社会教育委員研究集会、群馬県社会教育研究大会関東甲信越静社会教育研究大会、講演や他の自治体の事例発表をとおして職務遂行に必要な知識・技術等の習得に努めた。

また、長年の功績が認められ、3名の委員が群馬県社会教育委員連絡協議会会長から表彰を受けた。

2 村の音楽会の開催

地域ふれあい「村の音楽会」として、陸上自衛隊第12音楽隊、榛東中学校吹奏楽部の演奏による音楽会を令和5年12月3日(日)に開催した。358名(主催者、来賓者含む)が来場し、アンケートを集計した結果、「とても良かった」という意見が81%だった。

3 文化講演会の開催

村民一人ひとりが生涯学習に対する意識を高め、生きがい・仲間づくりを通じた生涯学習の推進につなげるため、令和6年2月23日(金)に開催した。スポーツジャーナリスト「増田明美」氏を講師として迎え、「自分という人生の長距離ランナー」と題し、講演をいただいた。254名(主催者、来賓者含む)が来場し、アンケートを集計した結果、「とても良かった」という意見が77%だった。

4 家庭教育支援事業

令和5年10月1日(日)に開催した「しんとうママフェス」は講演や楽器演奏、手作り品の販売など親子で楽しめる内容を工夫し、住民生活課(榛東村環境美化推進協議会)主催のエコフェスタと同時開催で実施した。12月2日(土)に開催した「しんとうパパフェス」では総合グラウンドや耳飾り館を会場として親子ウォークラリーを行った。3月に3日間実施した「通園・通学バッグ作り」は子育て中のお母さん同士の交流・情報交換の場、仲間作りの場となることを目的として実施した。

5 放課後子ども教室(学校・家庭・地域連携協力推進事業)

放課後の子どもたちの時間を、より豊かな体験の場と充実させる目的で実施している事業である。小学校のプレイルームにて、有償ボランティア「放課後活動サポーター」の見守りの中、宿題や昔あそび、工作等を行う活動を行っている。

- ・ 対象学年(参加人数) 1・2年生(126名)
- ・ 実施回数 各校・学年 7回(全28回)

学校休業日には、耳飾り館等で「休日わくわく教室」を9回、小中学校パソコン室で「プログラミング教室」を3回実施し、好評であった。

6 社会人権教育

憲法や教育基本法の本質と人権教育推進協議会の答申に沿った、基本的人権を尊重する平等の原則に基づき、人間の尊厳性についての自覚を深め、人権問題を正しく理解・認識することに努めた。人と人の中に存在する「偏見・差別意識」を取り除き、これを解消するため本村の実情に即した施策・計画を策定し、学校・社会・家庭教育の連携を深め人権を習慣・文化として日常生活に定着させるように人権教育を積極的に推進した。令和5年度の主な活動は以下のとおりである。

- ・ 人権教育推進協議会の開催
- ・ 6集会所において教育集会所指導事業が行われた。各教室は長岡集会所では詩吟教室、伝統芸能(獅子舞)、八木節教室、歌謡(カラオケ)教室、萱場集会所では民謡教室、笹熊集会所ではフォークダンス教室、コーラス教室、下ノ前集会所では歌謡教室、手芸教室、料理教室、民謡教室、上野集会所ではカラオケ教室、おどり教室、レクダンス教室、写真教室が開かれた。
- ・ 啓発活動として、広報ひかりの発行(年2回)、人権作文集発行、人権ポスター・人権標語の

募集、展示を行った。

- ・ 夏休み人権ビデオ視聴会は、各自治会に開催希望を伺い、13の自治会にて行った。
- ・ 教育集会所学習成果合同発表会・人権講演会(住民生活課主管事業)
各集会所の学習成果を発表する機会として、令和6年3月3日(日)に南部コミュニティセンターで開催した。

7 成人の日の記念行事

平成30年度榛東中学校卒業生及び平成15年4月2日～平成16年4月1日に生まれた榛東村在住の方を対象に「榛東村二十歳のお祝い」と称し、村として記念行事を開催した。

8 防災中枢機能施設整備事業

災害に強いまちづくりを進めるため、中央公民館(中央コミュニティセンター)と学校給食センターの両方の機能を併せ持つ防災機能を高めた「防災中枢機能施設」に係る主な業務を実施した。本体工事として、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の各工事に着手した。

9 社会体育施設整備事業【しんとう総合グラウンドテニスコート人工芝補修工事】

しんとう総合グラウンドテニスコートA面の人工芝が摩耗したため、人工芝の張替えを行った。

④ 中央公民館における事業

1 教室の開催

地域住民の学習ニーズに応え、生きがい作りや住民間の交流を図るため、以下の各教室を開催した

- ・ 絵手紙教室
- ・ ウクレレ教室(初心者)
- ・ 寄せ植え教室
- ・ リズム体操教室
- ・ 実践書道教室

2 図書活動

- ・ 利用者の意見を反映させた図書の購入
- ・ お話会の実施(夏休みおはなし会)
- ・ 読書啓発事業として行う「読書感想画コンクール」の実施
- ・ 図書室利用状況

大人 1,916人(貸出冊数 4,137) 子ども 1,129人(貸出冊数 3,433)

⑤ 南部コミュニティセンターにおける事業

1 教室・催事等の開催

地域住民の学習ニーズに応え、生きがい作りや住民間の交流を図るため、以下の教室・催事等を開催した。

- ・ 和太鼓教室
- ・ クレイアート教室
- ・ 親子ふれあいクッキー作り教室
- ・ おもしろ科学教室
- ・ 子ども料理教室
- ・ おせち料理教室
- ・ 親子ケーキづくり教室
- ・ 毎日食べたいパン作り教室

2 図書活動

- ・ 利用者の意見を反映させた図書の購入
- ・ 読書啓発事業として行う「読書感想画コンクール」の実施
- ・ 図書室利用状況
大人 1,619 人(貸出冊数 2,150) 子ども 756 人(貸出冊数 3,855)

⑥ 文化財・耳飾り館における事業

1 文化財事業(一般)

- ・ 無形民俗文化財保存団体への活動支援・補助金交付を7団体に行った。

2 文化財事業(埋蔵)

- ・ 埋蔵文化財調整事務を行った。
埋蔵文化財包蔵地における開発行為に先立ち、文化財保護法(第93条・第94条)に基づいた指導・調整、試掘調査を行った。
- ・ 包蔵地内における開発行為による届出件数 11 件、慎重工事2件、工事立会9件

3 耳飾り館事業

地域住民が来館する契機となり、また利用者が地域の歴史に興味・関心を深めるよう、以下の主な活動・講座・教室等を実施した。

- ・ 夏期企画展「榛東村の古墳」7月1日から8月31日まで
- ・ 秋季企画展「下新井遺跡展」10月14日～12月17日まで
- ・ 冬季企画展「昔の暮らし展」1月13日～3月10日まで
- ・ 常設展ミニ展示「県内の土製耳飾り～吾妻町唐堀遺跡の耳飾りとくらべてみよう」6月6日～7

月31日まで

- ・ ロビー展示「縄文土器を触ってみよう」通年
- ・ ロビーミニ展示「土器に残る文字やしるし」(博物館実習展示)8月23日～9月30日
- ・ ロビーミニ展示「郷土資料からみる戦争」8月1日～9月30日
- ・ 体験学習コーナー ウッドビーズのアクセサリ、お守りペンダント、勾玉、土製耳飾り 令和5年度参加者数 232人(令和4年度参加者数 189人)
- ・ 夏休み体験イベント 参加者計 47人
- ・ 縄文みみかざりづくり 7月26日(2回実施)
- ・ 勾玉作り 7月29日、7月30日(4回実施)
- ・ マーブル模様のきれいなうちわ 8月5日
- ・ 縄文風クラフトテープのミニバスケット 8月11日
- ・ 古墳見学ツアー 8月20日
- ・ 秋冬の体験イベント 参加者計 14人
- ・ 下新井遺跡の土偶の絵を描いてみよう 10月22日
- ・ 紋切りあそび 11月4日
- ・ JOMON ワークショップ 参加者計 29人
- ・ 土偶・耳飾りのスタンプでオリジナル手ぬぐい作り 11月25日
- ・ 黒曜石の鍔づくり 講師 大工原豊氏 12月10日
- ・ むかしの暮らし展 参加者計 19人
- ・ スタンプで自分デザインの手ぬぐいをつくろう 1月14日、28日、2月11日、18日
- ・ 展示解説「さわってみようむかしの道具」1月14日、28日、2月11日、18日
- ・ 耳飾り館ミュージアムコンサート 参加者 50人 令和6年3月24日 13時から
出演 一般社団法人 カメラータ慈音 小田原由美 真塩裕子 岡部唯
- ・ しんとう・ふるさと歴史講座 参加者計 157人
4月16日 石仏めぐりの愉しみ 日本石仏協会 大島尚子氏 参加者 12名
5月21日 石仏をたずねる散策会 日本石仏協会 大島尚子氏 参加者 14名
12月3日 下新井遺跡の配石墓 國學院栃木短期大学准教授 大工原豊氏 参加者 26名
12月16日 剣崎長瀬西遺跡と5世紀の古墳 観音塚考古資料館 学芸員 三浦茂三郎氏
参加者 28名
1月28日 私の趣味～古墳めぐりのたのしみ～ 元群馬県古墳総合調査県民調査員 鈴木昭吉氏 参加者 28名
2月10日 多胡碑の笠石を再検討する 下仁田歴史館 館長 秋池武氏 参加者 22名
3月30日 桃井郷十三仏 学習院大学非常勤講師 青木祐子氏 参加者 27名
- ・ 貸し館業務
油彩画展 4月1日～5月10日まで
絵画展 9月16日～9月30日まで

- ・ 学校等団体利用: 榛東村立南幼稚園(18名)、高山村立高山小学校(47名)、榛東村立南小学校(57名)、群馬県立盲学校(14名)、群馬県立赤城特別支援学校(14名)、埼玉県宮代町議会(11名)、福島県只見町議会(8名)、山形県朝日町議会(8名)、榛東村楽集センター(19名)、群馬天台青年会(34名)、榛東村立北幼稚園(41名)、福岡県芦屋町議会(7名)、桐生市自治会長(22名)、榛東村社会教育委員(8名)、吾妻郡中学校教育研究会社会科部会(4名)、クラブツーリズム(20名)、上三川町文化財保護ボランティア団体連絡協議会(21名)、サンライト旅行(18名)、下仁田町教育委員会(5名)、藤岡土器埴輪友の会(29名)、榛東村立北小学校(84名)、榛東中央こども園(34名)、榛東南部保育園(40名)、黒潮町社会福祉協議会(5名)
- ・ 令和5年度利用者数 4,266人(令和4年度は4,358人)

⑦ 社会体育事業

1 榛東村スポーツ協会委託事業(各スポーツ専門部の活動)

以下、主な活動。

- ・ 令和5年度スポーツ協会定期総会及び支部長会議
- ・ 各専門部主催教室(ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、インディアカ、剣道、スキー)
- ・ 各スポーツ大会等

期 日	大会名等	主管・運営等
4月6日	令和5年度スポーツ協会定期総会	スポーツ協会
4月20日	支部長会議	スポーツ協会
4月30日 ～5月21日	剣道教室(全4日間)	剣道部
5月6日	第36回女子スマイルボウリング大会	スポーツ協会理事会
5月6日 ～5月27日	春季テニス教室(全4日間)	テニス部
5月7日 ～5月21日	第51回村民野球大会	野球審判部
5月10日 ～5月31日	バドミントン教室(全4日間)	バドミントン部
5月11日 ～6月1日	太極拳教室	太極拳部
5月22日	第18回村民グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフ協会
5月25日	支部長会議	スポーツ協会
6月3日 ～6月24日	ソフトテニス教室(全4日間)	ソフトテニス部
6月4日	第20回村民バドミントン大会	バドミントン部
6月18日	第47回村民バレーボール大会	バレーボール審判部

	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
6月25日	第48回村民バスケットボール大会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	バスケットボール部
7月2日	第41回村民ソフトテニス大会(個人)	ソフトテニス部
7月2日	第37回村民ゴルフ大会	ゴルフ部
7月6日	支部長会議	スポーツ協会
7月14日	第13回ラージボール卓球大会	卓球部
7月16日	令和5年度村民卓球大会	卓球部
7月20日	臨時理事会	スポーツ協会
7月23日	第41回村民ソフトテニス大会(団体)	ソフトテニス部
8月～	郡民大会	各専門部
8月3日	「スポレク祭」に伴う 代表理事・代表支部長会議	スポーツ協会
8月13日 ～8月27日	第44回村長杯争奪野球大会	野球審判部
8月17日	支部長会議	スポーツ協会
8月27日	第18回村民テニス大会(個人戦)	テニス部
9月2日 ～9月23日	秋季テニス教室(全4日間)	テニス部
9月3日	第54回婦人バレーボール大会	婦人バレーボール部
9月6日	臨時理事・代表支部長会議	スポーツ協会
10月1日	第18回村民テニス大会(団体戦)	スポーツ協会
10月15日	しんとう・村づくり祭【スポレク部門】 ※スポレク祭・雨天中止	スポーツ協会理事会
10月19日	支部長会議	スポーツ協会
10月22日	第36回スローピッチソフトボール大会	ソフトボール審判部
11月5日 11月12日	群馬県民スポーツ大会	各専門部
11月5日	第20回大字対抗野球大会	野球審判部
11月19日	令和5年度村民モルック大会	スポーツ協会理事会
11月19日	第56回村民剣道大会	剣道部
12月3日	第48回村民サッカー大会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	サッカー協会
12月9日	臨時理事会	スポーツ協会
1月11日	支部長会議	スポーツ協会

2月6日 ～2月27日	インディアカ教室(全4日間)	インディアカ部
2月10日	第31回村民綱引き大会	スポーツ協会理事会
2月18日	ファミリースキー教室	スキー部
3月3日	第19回村民インディアカ大会	インディアカ部
3月14日	令和5年度競技優秀者表彰式	スポーツ協会

2 健康・スポーツ教室等事業報告(教育委員会事務局主管事業)

事業名	実施日	会場	参加人数
ボディメイク健康教室①	6月8、15、22、29日	南部コミュニティセンター	延65人
脱メタボ健康教室	1月18、26日 2月2、9日	南部コミュニティセンター	延34人

3 スポーツ推進委員主管事業

事業	日程
第1回スポーツ推進委員会議(年間計画の審議他)	4月19日
スマイルボウリング大会(指導・審判)	5月6日
第2回スポーツ推進委員会議	5月16日
ノルディックウォーキング教室(春)(指導)	5月27日
第2回関東スポーツ推進委員研究大会(群馬県)	6月10日
レクリエーションスポーツフェスタ(主管事業)	6月11日中止
軽スポーツ交流会 高山村	7月1日
第58回群馬県スポーツ推進委員研究大会	7月15日
ポッチャ教室(主管事業)	7月15日
第3回スポーツ推進委員会議	8月29日
モルック教室(主管事業)	9月30日中止
スポレク祭審判協力	10月15日中止
村民モルック大会	10月19日
第4回スポーツ推進委員会議	11月14日
綱引き大会(指導・審判)	2月10日
県外グレードアップ研修会	2月18日
第5回スポーツ推進委員会議(報酬について)	3月26日

4 榛東村スポーツ少年団育成事業

榛東村スポーツ少年団に係る関係機関との連携や活動支援を継続しました。

○ 県登録の状況

単位団: 11 単位団(10 種目)

指導者: 35 名(男 33 名、女 2 名)(有資格者のみ)

団員: 159 名(男 104 名、女 55 名)

5 しんとうスポーツクラブ事業

○主管事業

事業名	実施日	会場	参加人数
ルディックウォーキング教室(春)	5月27日	榛東村 広馬場方面 史跡巡りコース	10人

○定期プログラム

事業名	開催日	開催場所	実施回数
バレーボール	毎週 水曜日	しんとうスポーツアリーナ	51回
ペガッサVC	毎週 火・金 指定日 (土曜日)	しんとうスポーツアリーナ	47回
バドミントン	毎週 土曜日	榛東中学校講堂	38回
		しんとうスポーツアリーナ	14回
インディアカ	毎週 月曜日	榛東中学校講堂	45回
		しんとうスポーツアリーナ	1回

○不定期プログラム

体操教室	指定日 (日曜日)	榛東中学校講堂	10回
キッズフットサル	指定日 (日曜日)	しんとう総合グラウンド	1回
チアダンス	指定日 (土曜日)	しんとうスポーツアリーナ	9回
		南部コミュニティセンター	28回

6 榛東村各種スポーツ競技大会奨励金

村民のスポーツ振興と関東大会以上のスポーツ競技大会出場者への激励を目的に「榛東村各種スポーツ競技大会奨励金」の交付を行いました。

関東大会出場:14件(個人交付:13件、団体交付:1件)

全国大会出場:19件(個人交付:19件、団体交付:0件)

7 社会体育施設・学校開放施設利用状況

ア. しんとう総合グラウンド (単位：回)

施設名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
多目的運動場	11	14	9	9	13	19	10	6	4	3	7	11	116
サッカー場	65	60	59	68	80	64	64	63	44	50	47	72	736
テニスコート	75	82	62	95	89	103	80	66	70	70	79	95	966
計	151	156	130	172	182	186	154	135	118	123	133	178	1,818

イ. しんとうスポーツアリーナ (単位：回)

施設名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
アリーナ	63	55	59	56	89	56	61	49	47	54	50	89	728
多目的室	43	44	48	44	51	48	51	42	37	37	43	58	546
計	106	99	107	100	140	104	112	91	84	91	93	147	1,274

ウ. 地区体育館 (単位：回)

回数	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	23	23	28	28	22	23	31	30	24	22	28	30	312

エ. 学校体育施設開放 (単位：回)

施設名		月												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
北小	校庭	6	5	6	5	8	5	9	10	4	0	0	7	65
	体育館	17	21	22	24	22	24	27	25	20	22	15	0	239
南小	校庭	4	3	2	5	4	5	0	2	2	1	3	4	35
	体育館	7	6	10	9	5	7	11	11	10	12	19	5	112
榛中	体育館	42	43	44	44	39	36	42	33	33	31	32	35	454
計		76	78	84	87	78	77	89	81	69	66	69	51	905

令和5年度榛東村教育委員会事務事業評価

評価・・・A:よい B:概ねよい C:やや悪い D:悪い

項目	事業	事業の概要	評価	内部評価・内容等	
I 学校教育	教育委員会の活動	教育委員会の開催	A	教育に関する課題について、迅速かつ的確に対応した。	
	学校教育	学校(園)訪問	教育課程の適切な実施や学習指導、その他学校教育に関する指導助言を行った。	A	定期的に学校(園)を訪問し、学校運営などについて指導助言をした。
		学校施設等整備事業	南小学校校長寿命化改修工事	A	南小学校校舎の防水改修、照明LED化、トイレ改修、空調改修、内装改修などの長寿命化工事を行った。
			榛東中学校校物置撤去改修工事	A	榛東中学校の屋外物置を一部撤去し、改修する工事を行った。
		校園長会議の開催	小中学校長・幼稚園長の会議を年間10回開催。また、必要に応じ随時開催した。	A	教育長の指示伝達、事案の協議、各校からの報告などを行った。
		榛東村教育研究所研究部	以下の研究班を設け、榛東村の教育課題について、研究を推進した。 ・授業改革推進協議会	A	授業改革推進協議会では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、各教科・領域の授業実践や授業研究会を通してよりよい授業づくりを進めるとともに、効果的・効率的な研修推進体制構築に向けた実践的な研究を進めた。また、各校で公開授業研究会を開催し、授業改革を推進した。
		ぐんぐんスクール ぐんぐん土曜塾 ぐんぐんサマー塾	児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために、教員及び学習支援員等の指導・支援による補充学習を行った。	A	ぐんぐんスクールでは、児童・生徒を対象として夏季休業及び平日放課後に補充学習を行い、延べ9,000名超が参加した。 ぐんぐん土曜塾では、3～6年の児童及び中学生を対象として土曜日午前(年間15回)に補充学習を行い、延べ144名が参加した。 ぐんぐんサマー塾では、3～6年の児童を対象として夏季休業期間中(全10回)に補充学習を行い、延べ82名が参加した。
		人権(同和)教育講演会	講演会を通して、人権(同和)教育に必要な資質・能力の向上を図った。	A	令和5年8月に、「不登校の子どもたちへの支援の在り方」の演題で、中部教育事務所スクールカウンセラースーパーバイザー佐藤絹恵氏による講演会を行った。
		人権(同和)教育公開授業(保育)研究会(一部中止)	代表校園の授業公開や各校園の実践発表等を通して、各校園の人権(同和)教育の充実及び啓発活動の推進を図る。	B	令和5年11月に、各校園の人権(同和)教育の取組を実践発表した。また、「学校・家庭・地域で子どもの安心・安全を守りましょう!」の演題で、一般社団法人J-CAPTAを招き、講演会を行った。なお、北小学校を研究校として公開授業を予定していたが、感染症感染拡大防止のため中止した。
		幼稚園・こども園・保育園・小学校及び小学校・中学校情報交換会	小学校1年及び中学校1年におけるスムーズな就学に関わって情報交換及び協議を行った。	A	令和5年5月に開催。昨年度及び現在の幼児・児童・生徒の様子についての情報交換を行うことにより、各校間でスムーズな移行を図るとともに、今後の連携の足がかりができた。
		幼稚園・こども園・保育園・小学校連携協議会	幼稚園・こども園・保育園・小学校の教職員が公開授業・保育の相互参観や研修会・情報交換を通して、接続期の指導・支援のあり方について協議した。	A	令和5年6月に南小学校、令和5年11月に北幼稚園で開催し、公開保育の参観や研修会・情報交換を通して、接続期の子ども見取りについて情報共有するとともに、幼稚園・こども園・保育園・小学校のスムーズな接続について研修を深めた。
		いじめ防止子ども会議	中学校区等の小学生・中学生の代表が、各校の実践発表を行うとともに、いじめをなくすために自分たちでできることを話し合った。	A	令和6年1月に、榛東中学校において参集して開催した。榛東中学校生徒会が中心となり、北小学校と南小学校の児童会をリードしながら協議を進めた。教育委員も協議に参加し、児童生徒と一緒に話し合いを行ったことで、いじめ防止に向けた主体的な取組を一層推進した。
	学校給食センター	給食業務	学校給食法の目的及び目標に基づき、幼稚園児、小・中学校の児童生徒及び教職員等への完全給食を実施。調理・配送業務等を民間委託とし、作業効率の改善を図った。また、異物混入の防止及び食中毒の予防に努め、衛生管理を徹底した。配布物の作成を通じて、食に関する情報を発信した。また、郷土食や行事食等の献立を提供した。	A	民間委託にて、作業工程表に基づき調理・配送・洗浄作業を実施することにより、作業効率が向上している。異物混入を防止するため、食品の検品や洗浄作業に注意を払い、必要に応じて施設及び調理器具の修繕や買換えを行った。また、食中毒の予防については、調理器具等の洗浄・消毒、調理品の温度管理、調理員の手洗いを徹底。さらに、各種衛生検査を実施し、職員に対して研修を行うことで、衛生管理に関する意識を高めた。 給食だよりの発行や、給食時間の放送を通して、食に関する様々な知識や情報を提供した。また、地域の特色を生かした郷土食や、季節の行事に由来した行事食等を献立に取り入れることで、日本の伝統的な食文化に対し理解を深められるよう努めた。

項目	事業	事業の概要	評価	内部評価
II 生涯学習 社会教育	社会教育委員会議等	社会教育の充実・振興について情報交換や討議を行う。社会教育委員の職務遂行に必要な知識・技術等を習得するために必要な研修会に参加し、資質の向上に努めた。	A	<p>榛東村社会教育委員会議では、今年度から「生涯学習講座の事業研究」を開始した。南部コミュニティセンター、防災中枢機能施設建設予定地、中央公民館及び耳飾り館といった村有施設及び生涯学習事業の視察や、吉岡町文化センター及び吉岡町における生涯学習事業の視察を行い、村内外の事業の現状把握を行った。</p> <p>委員の改選、新たな研究内容の設定に伴い、群馬県中部教育事務所から講師を招き、「社会教育委員の役割」について講演を行った。講演を踏まえたワークショップを行い、委員から生涯学習についての課題や理想、また、課題解決に向けて社会教育委員が取り組むべきことの共有を図った。</p> <p>研修会等への参加については、群馬県新任社会教育委員研修会、中部地区社会教育委員研究集会、群馬県社会教育研究大会及び関東甲信越静社会教育研究大会に参加し、講演や他の自治体の事例発表をととして職務遂行に必要な知識・技術等の習得に努めた。</p> <p>また、長年の功績が認められ、3名の委員が群馬県社会教育委員連絡協議会会長から表彰を受けた。</p>
	「村の音楽会」の開催	地域ふれあい「村の音楽会」と題し、陸上自衛隊第12音楽隊、榛東中学校吹奏楽部の演奏による音楽会を令和5年12月3日(日)に開催した。	A	<p>広く村民に生の音楽を味わってもらうとともに、地域住民との交流を図ることを目的として開催した。358名(主催者、来賓者含む)が来場し、アンケートを集計した結果、「とても良かった」という意見が81%だった。「楽しかった」「生の演奏が聴けてよかった」「自衛隊の迫力の演奏、中学生の伸びしろのある演奏とそれぞれの良さがあった」といった声があった。事業を継続することにより、文化的な生涯学習の推進に努めたい。</p>
	文化講演会の開催	村民一人ひとりが生涯学習に対する意識を高め、生きがい・仲間づくりを通じた生涯学習の推進につなげるため、令和6年2月23日(金)に開催した。	A	<p>スポーツジャーナリスト「増田明美」氏を講師として迎え、「自分という人生の長距離ランナー」と題し、講演をいただいた。254名(主催者、来賓者含む)が来場し、アンケートを集計した結果、「とても良かった」という意見が77%だった。「楽しかった」「良い話が聞けて良かった」といった声があった。引き続き事業を行うことにより、受益者数や費用対効果が高いかを調査・研究したい。</p>
	地域社会教育活動	<p>地域住民の学習要求に応え、幅広い分野にわたる学習機会を提供する取組として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しんとうママフェス ママフェス実行委員会と共催でしんとうスポーツアリーナを会場に10月に開催された。講演や楽器演奏、手作り品の販売を行った。 ・しんとうパパフェス 昨年度に引き続き、講師にShakick Outdoor代表の小林秀平氏を迎え、親子ウォークラリーを実施した。 ・榛東村家庭教育支援チームによる通園・通学バッグ作り 子育て中のお母さん同士の交流・情報交換の場、仲間作りの場となることを目的に、新入園・入学用品(通園バッグなど)を制作する会を実施した。 	A	<p>しんとうママフェスについては86名が、出店ブースや楽器演奏に参加し、1644名が来場した。</p> <p>しんとうパパフェスについては8組20名の参加者があり、耳飾り館をスタート地点に榛東村内のチェックポイントを回りながらゴールを目指す親子ウォークラリーを実施した。各チェックポイントで開催されたレクリエーションに積極的に取り組み、親子仲を深めている様子を見ることができた。幼稚園のバッグ作りは4月から村内幼稚園に入学する子どもの保護者が通園バッグ作りを通じて交流する場を創出した。幼稚園だけではなくこども園、保育園、小学校入学用品の製作にも対応した。これらは地域ぐるみでの子育てイベントとして定着し、地域のつながり強化を図る取組として継続していきたい。</p> <p>○しんとうママフェス 10月1日(日) 来場者数 1,644名 ○しんとうパパフェス 12月2日(土) 参加者数 8組 20名 ○通園・通学バッグ作り3月3日間開催 参加者数11名</p>
	放課後子ども教室	<p>平成27年度から実施し、平成28年度からは、文部科学省・群馬県教育委員会の補助金を受けている。放課後の子どもたちの時間を、地域の協力を得ながら、より豊かな体験の場へと充実させることを目的に実施している。</p> <p>例年、「放課後活動サポーター」が見守るなか、宿題や昔あそび、工作等を行う活動を通じて地域と児童の交流を図っている。令和5年度は7月から開催した。また、学校休業日には村内施設を使用して、放課後活動サポーターの企画による「休日</p>	A	<p>住民から集まった有償ボランティア(登録者数26名)と共に活動を行っている。</p> <p>7月から2月まで、北小学校、南小学校にて放課後の時間に「放課後わくわく教室」を行った。また、休日にも子どもたちが様々な体験活動ができるよう、耳飾り館や南部コミュニティセンターを会場に「休日わくわく教室」を実施した。今年度も、4名の有償ボランティアが「放課後活動コーディネーター」として活動の中心となって運営した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後わくわく教室実施回数28回 参加児童数北小学校 1年生 35名 2年生 34名 南小学校 1年生 23名 2年生 34名 計126名 ・休日わくわく教室実施回数12回(うちプログラミング教室3回) 参加者数199名

<p>社会人権教育</p>	<p>憲法や教育基本法の本質と人権教育推進協議会の答申に沿った基本的な人権を尊重する平等の原則に基づいて、人間の尊厳性についての自覚を深めながら、人権問題を正しく理解・認識し、人と人との間に存在する「偏見・差別意識」を取り除き、これを解消するため本村の実情に即した施策・計画を策定し、学校教育、社会教育、家庭教育の連携を深め、人権を習慣・文化として日常生活に定着させるよう人権教育を積極的に推進した。</p> <p>主な活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進協議会・教育集会所指導事業の充実と人権教育の実践化・啓発活動の推進(広報「ひかり」発行、人権ポスター展示会、人権作文集の発行・人権標語)等。 	<p>A</p>	<p>人権教育推進協議会全体会が開催された。全体会後は、3部会(学校人権教育部会、社会人権教育部会、広報部会)が開催され、それぞれの下記の事業計画について、議論し、実施につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校人権教育部会は、「人権集中学習」「人権集中月間」の期間を設定し、あいさつ、人権作文等の学習を行い、児童、生徒の人権感覚を養い、いじめ・差別の解消の為に意識の高揚に努めた。人権(同和)教育公開授業(保育)研究会については11月24日北小学校にて実施した。 ・社会人権教育部会は、夏休み期間中に各自治会の自治会長、青少年会長、育成会長、人権教育推進委員合同により実施していた「人権教育ビデオ視聴会」を開催希望をとり11の自治会で開催した。中央公民館での人権ビデオの貸出しを広報等で周知し、家庭等での活用を呼びかけた。 ・広報部会は、村民一般に対して人権問題解消の啓発として、広報紙を発行(広報「ひかり」)、「人権作文集」)。また、人権ポスターの展示を行い、人権尊重の意識の高揚に努めた。 ・人権教育推進委員、集会所運営委員、教職員、行政職員等に研修会に参加していただき、地域での人権問題解消に取り組む為のリーダーの養成を行った。各部会共、協力し合い熱心に活動していた。本村の人権教育は地域・行政・学校お互いの協力と連携の元、村全体で取り組んでおり、一定の成果を上げているといえる。新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる事業もあったが、啓発活動を中心に人権教育を推進した。これからも人権意識を高めるため、時代の流れに即した内容・方法を取り入れながら実践していきたい。
<p>成人の日の記念行事</p>	<p>榛東村在住の令和5年4月2日から令和6年4月1日に20歳になられる方、及び平成30年度榛東中学校を卒業された方を対象に「榛東村二十歳のお祝い式典」を令和6年1月7日に開催した。新型コロナウイルス感染症が第5類感染症となり、中学校の恩師等来賓も招かれた中、対象者191名中、135名の出席を得られ、厳かに執り行われた。</p>	<p>B</p>	<p>成人の日の記念行事対象者の、式典への出席率が昨年度を20%増の70.7%であった。新型コロナウイルス感染症への移行も増えた要因であると思われる。</p>
<p>防災中枢機能施設整備事業</p>	<p>災害に強いまちづくりを進めるため、中央公民館(中央コミュニティセンター)と学校給食センターの両方の機能を併せ持つ防災機能を高めた「防災中枢機能施設」を整備するための事業である。</p>	<p>A</p>	<p>防衛省の補助事業である「まちづくり支援事業」として採択され、補助事業を実施した。令和5年度は、本体工事として、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の各工事に着手した。</p>
<p>社会体育施設整備事業【令和5年度しんとう総合グラウンドテニスコート人工芝補修工事】</p>	<p>しんとう総合グラウンドテニスコートA面の人工芝が摩耗したため、人工芝の張替えを行う事業である。</p>	<p>A</p>	<p>怪我防止等の観点から当該コートの貸出しは行っていなかった(使用できなかった)が、当該事業による補修により貸出しを行える(利用できる)ようになった。</p>

中央公民館における活動	教室開催	次に掲げる教室を実施した。 ○絵手紙教室・ウクレレ教室・寄せ植え教室・リズム体操教室・実践書道教室・夏休みおはなし会	A	幅広いジャンルの教室開催を時期的な事も考慮し実施することで、参加者から好評を得られた。(アンケート調査結果、教室開催継続実施の要望に基づく)
	図書活動	・図書購入 ・読書啓発事業として保育園や幼稚園児、小学生による「読書感想画コンクール」 ・お話し会実施(夏休みおはなし会)	C	図書室利用者の声を反映させた図書の購入を行うとともに、一般利用者のほか小中学生等の学習の場としても活用された。
南部コミュニティセンターにおける活動	教室・催事等の開催	○次の各教室を開催した ・和太鼓教室 ・おもしろ科学教室 ・おせち料理教室・クレイアート教室 ・親子クッキー作り教室・親子ケーキ作り教室・子ども料理教室・毎日食べたいパン作り教室	B	新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、計画していた教室や講座はほぼ実施出来た。
	図書活動	・図書購入 ・読書啓発事業として保育園や幼稚園児、小学生による「読書感想画コンクール」の実施	B	図書室利用者の声を反映させた図書の購入を行うとともに、小中学生、高校生の学習の場としても活用された。
文化財保護	文化財事業(一般)	・郷土芸能保存会への支援 ・榛東村文化財保存事業費補助金の交付	B	・村内7団体の民俗芸能保存団体に対し活動費補助金の交付を行った。
	文化財事業(埋蔵)	開発に伴う埋蔵文化財の調査件数届け出件数11件 工事立会実施件数9件	B	開発に伴う埋蔵文化財調査等の対応を行った。開発に伴う問合せは増加しており、随時調整を行っている。
耳飾り館	耳飾り館事業(展示)	・夏季企画展「榛東村の古墳」7月1日から8月31日まで ・秋季企画展「下新井遺跡展」10月14日から12月17日まで ・冬季企画展「昔の暮らし展」1月13日から3月10日まで ・常設展ミニ展示「県内の土製耳飾り～東吾妻町唐堀遺跡の耳飾りとくらべてみよう」6月6日から7月31日まで	A	村の文化財を紹介する企画展を開催した。「榛東村の古墳」は村内で出土した代表的な古墳出土品である大刀、鏢、柄頭、鉄鏃、など見ごたえのある出土品を展示した。「下新井遺跡展」では茅野遺跡と同時代に営まれ、土製耳飾りを約100点出土した同遺跡を単独で扱い、焦点を当てた。「昔の暮らし展」は小学校4年生の社会科学習にあわせて毎年開催しており、村内で使われていた昭和30年くらいまでの昔の道具を展示した。常設展ミニ展示では吾妻町唐堀遺跡出土の土製耳飾りを借用し、茅野遺跡の耳飾りと比較できるように工夫して展示した。年間を通じて企画展開催期間が設定されるようにし、開催期間中は解説会や古墳見学会など関連イベントを開催し充実を図った。
	耳飾り館事業(ロビー展示)	・「縄文土器を触ってみよう」通年 ・ロビーミニ展示「土器に残る文字やしるし」(博物館実習展示)8月23日から9月30日 ・ロビーミニ展示「郷土からみる戦争」8月1日から9月30日	B	ロビーでミニ展示を開催した。土器片や石器の展示は小学生に好評であった。博物館実習の一環として実習生が作成した展示も行った。「郷土史からみる戦争」では軍事郵便や配給簿、写真を展示するなど、来館者の興味を引く展示となるように工夫した。
	その他の催し(イベント・教育普及活動)	・体験学習コーナー(ウッドビーズのアクセサリ、お守りペンダント、勾玉、土製耳飾り、アングイン編み) 参加者数 232名 ・夏休み体験イベント 参加者計47名 ・秋冬の体験イベント 参加者計14名 ・JOMONワークショップ 参加者計29名 ・むかしの暮らし展イベント 参加者計19名 ・しんとろ・ふるさと歴史講座 参加者計157名	B	体験イベントは小学生を対象に夏休みや休日に開催した。JOMONワークショップは黒曜石で鏃作りを行った。歴史講座では郷土の歴史についての講演を専門家を招いて実施した。地域住民の興味関心を高められるような運営ができた。
	耳飾り館事業(ロビーコンサート)	耳飾り館ミュージアムコンサート ・令和6年3月21日 13時から14時参加無料 ・出演:一般社団法人 カメラータ慈音 小田原由美 真塩裕子 岡部唯	A	毎年好評のロビーで開催するコンサートで、定員の50名を超える申し込みがあった。
III 榛東村スポーツ協会委託事業報告(各スポーツ専門部の活動)	定期総会(書面議決)	令和5年4月6日に定期総会を書面議決により開催した。	B	本村の行政区は21あり、その各行政区ごとに体育支部長、理事がいる。回答数過半数以上により、総会は成立した。

第51回村民野球大会	5/7～5/21開催。	B 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大会の開催数が減少していたが、今年度から、村民バレーボール大会及び村民サッカー大会を除いた多くの大会を開催することができた。(スポ・レク祭は雨天により中止。)数年ぶりの大会開催ということもあり、準備に調整を要したが、各専門部と細かな協議を行うことで、滞りなく大会を開催することができた。ただ、参加チーム数、参加者数の減少が継続的な課題であり、より多くの村民の方々が参加できるよう、大会の在り方や周知の方法等を検討していく必要がある。また、「村民駅伝大会」については、参加チームの減少等の理由から今年度より「村民モルック大会」に変更した。実施したアンケートの記入者全員から大会が「良かった」と評価を得た。今後は、競技や大会の周知を行い、参加者の増加を目指していく。また、各専門部主催の教室については昨年度は、開催中止が3教室あったが、今年度開催予定の教室は全て開催することができた。今後は、各専門部に対して新たな教室の開催を促していく。
第36回女子スマイルボレー大会	5/6開催。	
第13回ラージボール卓球大会	7/14開催。	
第20回村民バドミントン大会	6/4開催。	
第18回村民グラウンド・ゴルフ大会	5/22開催。	
令和5年度村民卓球大会	7/16開催。	
第47回村民バレーボール大会	6/18中止。	
第48回村民バスケットボール大会	6/25中止。	
第37回村民ゴルフ大会	7/2開催。	
第41回村民ソフトテニス大会(個人戦)	7/2開催。	
第41回村民ソフトテニス大会(団体戦)	7/23開催。	
第44回村長杯争奪野球大会	8/13、8/27開催。	
第54回婦人バレーボール大会	9/3開催。	
第18回村民テニス大会(個人戦)	8/27開催。	
第18回村民テニス大会(団体戦)	10/1開催。	
第36回スローピッチソフトボール大会	10/22開催。	
しんとう村づくり祭スポ・レク祭	10/15雨天によりスポ・レク祭部門は中止。産業祭部門のみ開催。	
第20回大字対抗野球大会	11/5開催。	
第56回村民剣道大会	11/19開催。	
令和5年度村民モルック大会	11/19開催。	
第48回村民サッカー大会	12/3中止。	
第31回村民綱引き大会	2/10開催。	
第19回村民インディアカ大会	3/3開催。	
令和5年度競技優秀者表彰式	3/14開催。	
各専門部主催教室	太極拳、剣道、ソフトテニス、硬式テニス、バドミントン、インディアカ、スキー教室開催。	

健康・スポーツ教室等事業(教育委員会事務局主管事業)	各種教室の開催	スポーツ振興として以下の教室を企画・開催。 ・ボディメイク健康教室①(参加者延べ65人) ・脱メタボ健康教室(参加者延べ34人)	B	ボディメイク健康教室は多くの参加者に好評で、良い健康づくりの場を提供できた。 脱メタボ健康教室については、参加者が減少した。今後は、内容の変更や新しい教室の開催を検討していく。 また、いずれの教室についてもサークル化ができるよう働きかけをしていくことが今後の課題である。
スポーツ推進委員 主管事業	レクリエーションスポーツフェスタ	小3～中学生を対象とした事業で、5種類のレクリエーションスポーツを紹介し体験させることでスポーツに親しむ機会をつくる。(中止)		本村におけるスポーツ振興方策の検討、スポーツ実施のきっかけの提供(特にスポーツ未実施層)、レクリエーションスポーツの普及・開発、スポーツを通しての住民間・世代間交流等を指標に活動を行った。特に、モルック大会では、スポーツ推進委員が大会参加者に対して率先して技術指導を行う姿が見られた。 レクリエーションスポーツフェスタ、ポッチャ教室、モルック教室について、参加者が規定人数に不足、中止となった。今後は、内容や周知の方法、開催日程の検討を行い、多くの参加者が見込めるようにしていく必要がある。
	スポーツ協会主管事業への審判協力	女子スマイルボウリング大会・スポレク祭(今年度中止)・モルック大会・綱引き大会の審判員として技術指導を行う。	A	
	スポーツクラブ主管事業への指導協力	ノルディックウォーキング教室へスタッフとして参加し、参加者へ技術指導を行うことで、運動効果の高い教室を実施することができた。	B	
	各教室の開催	手軽に楽しめる競技を行うことで、スポーツの普及を図る。 以下の教室を開催した。 ・ポッチャ教室(参加者0名、スタッフのみで実施) ・モルック教室(中止)		
	グレードアップ研修	様々なスポーツを体験をすることで、インストラクターの指導技術を学ぶ。	A	
榛東村スポーツ少年団育成事業	県登録の状況	単位団: 11単位団(10種目) 指導者: 35名(男33名、女2名) 団員: 159名(男104名、女55名)	A	生涯スポーツの普及、青少年の心身の健全育成を目的に活動しているスポーツ少年団の育成支援を行った。
しんとうスポーツクラブ事業	各教室の開催	総合型スポーツクラブとして以下の教室を開催した。 ・バレーボール(51回実施) ・ペガzzoVC(47回実施) ・バドミントン(52回実施) ・インディアカ(46回実施) 不定期プログラム(チアダンス、キッズフットサル、体操) ・ノルディックウォーキング教室(春)(参加者10人)	A	平成22年に設立した総合型地域スポーツクラブ「しんとうスポーツクラブ」の活動支援を行った。 当該クラブは、低額な会費で様々なスポーツを楽しめることをコンセプトとしているが、会員が固定化しているため、さらなる会員の増加とニーズに応じたプログラムの見直し等の課題が残るとともに、効果的かつ効率的な運営に誘導する必要がある。 ノルディックウォーキング教室は、スポーツ推進委員及びふるさと学芸員の協力のもと、運動効果の高いウォーキングを行いながら史跡の学習もできて好評であった。しかし、参加者の固定化が見られるため、新しい教室の検討や周知方法の検討をしていく必要がある。
榛東村各種スポーツ競技大会奨励金	榛東村各種スポーツ競技大会奨励金の交付	村民のスポーツ振興と全国規模のスポーツ競技大会出場者への激励を目的に奨励金を交付した。	B	全国大会等のスポーツ競技会に出場した村民を対象に奨励金の交付を行い、村民スポーツの振興を図り、スポーツ競技者への激励・支援を行った。
社会体育施設・学校開放施設利用状況	施設貸出業務	・しんとう総合グラウンド 多目的運動場 人工芝サッカー場 テニスコート ・しんとうスポーツアリーナ アリーナ 多目的室 ・地区体育館 ・学校開放施設	A	段階的に行ってきた社会体育施設整備に伴い、施設の充実度は増してきている。しかしながら、貸出手続等に関する利用者からの意見・要望は各施設毎多種多様であり、改善に向けたさらなる検討が必要である。今後も公共施設長寿命化計画個別計画等により適切な維持管理を行う。 利用回数としては、各種大会等の再開で社会体育施設(多目的運動場を除く)は各施設とも村内者だけでなく村外者及び県外者の利用が1.1～1.3倍に増加した。学校施設は北小のみ、前年度空調工事で10～12月貸出不可だった事もあり今年度は2.6倍に増加した。 夏期の屋外運動場利用者の熱中症予防対策としてミストシャワーをDIY製作し活用したことは、利用者には好評だった。

令和5年度 榛東村教育委員会事務点検・評価報告書の外部評価

はじめに

榛東村教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づいて教育委員会事務の点検を行い、前年度の課題解決に向けた諸事業を計画的に実施されて、大きな成果を上げられております。

令和5年度の榛東村教育委員会事務点検・評価報告書報告書を拝見し、榛東村教育委員会事務事業評価のそれぞれの項目につきまして、僭越でございますが、所見及び評価をさせていただきます。

I. 学校教育等に関する事務事業

① 庶務・学校教育における事業

1. 教育委員会の開催

合議制の執行機関として、その役割と責任を果たすために定例の教育委員会を12回開催、それに加えて今年度は臨時会を7回も開催し、教育に関する課題について迅速かつ的確に対応されていることを高く評価いたします。

2. 学校（園）訪問

定期的に学校（園）を訪問しながら、各学校（園）において教育課程が適切に実施されているかを確認しながら、子どもたちを直接指導する教師や学校経営に携わる管理職に対して、直接指導・助言を行い、教育の向上に努められていることを高く評価いたします。

この事業を継続することで、各学校（園）が緊張感を持ちながら、学校経営や指導の改善に努め、榛東村の教育が一層充実されると確信いたします。

3. 学校施設等整備事業

榛東村の学校施設は他郡市の学校と比べてとても良く整備されておりますが、令和5年度は、南小学校校舎の防水改修、照明LED化、トイレや空調の改修などの長寿命化工事を行ったり、榛東中学校の屋外物置の一部撤去及び改修工事行うなど、児童生徒の学校環境を整備し、子どもたちがより良い環境で学校生活を送れるよう努めていることを高く評価いたします。

4. 校園長会議の開催

令和5年度も教育委員会の計画により、小中学校長・幼稚園長の会議を年間10回、必要に応じて随時開催しながら、教育長の指示伝達や事案の協議を行ったり、各学校（園）からの報告を受けて教育課題の共有に努められていることは、学校間の連携を図る上でもとても大切であり、高く評価いたします。

5. 榛東村教育研究所研究部

令和5年度は、榛東村教育研究所研究部内に「授業改革推進協議会」を設置し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、各教科・領域の授業実践や授業研究会を通してよりよい授業づくりを進めたり、効果的・効率的な研修推進体制構築に向けた実践的な研究を進めながら各校において公開授業研究会を開催して授業改革を推進したことは、教師の指導力の向上となり、とても素晴らしいと思います。

6 ぐんぐんスクール・ぐんぐん土曜塾・ぐんぐんサマー塾

令和5年度、榛東村教育委員会では補充学習として「ぐんぐんスクール」と題して児童・生徒対象に夏季休業及び平日放課後に補充学習を行い、延べ9,000名超が参加。「ぐんぐん土曜塾」と題して、小学校3～6年の児童及び中学生を対象に土曜日午前（年間15回）の補充学習を行い、昨年を上回る延べ144名が参加し、児童生徒の学力向上に成果を上げています。

また、夏期休業中にの補充学習として行った「ぐんぐんサマー塾」には延べ82名の参加があり、児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の定着に結びついていることを高く評価いたします。この素晴らしい取組を今後も一層充実させて児童生徒の学力向上につなげてほしいと思います。

7 人権（同和）教育講演会

榛東村教育委員会では、毎年、人権に関する公開授業や教育講演会が教職員の悉皆研修として行い、子どもたちを指導する教職員の人権（同和）教育に必要な知識や資質・能力の向上を図っていることは素晴らしいと思います。

今年度は、令和5年8月に、「不登校の子どもたちへの支援の在り方」の演題で、中部教育事務所スクールカウンセラースーパーバイザー佐藤絹恵氏を招いて講演会を行い、人権意識の向上に努めたことを高く評価いたします。

8 人権（同和）教育公開授業（保育）研究会

毎年、榛東村教育委員会では、村内の幼稚園、小学校、中学校の中から研究校を指定して、人権に関わる授業公開や実践発表を行い、各校（園）の人権教育の充実や啓発活動の推進を図り、教職員の指導力および、人権意識の向上に努められています。

今年度は、令和5年11月に、「学校・家庭・地域で子どもの安心・安全を守りましょう！」の演題で講演会を開催し、教職員の資質・能力の向上に努められたことを高く評価いたします。

感染症拡大防止のために、北小学校で予定していた公開授業が中止となり残念でしたが、研修してきたことを今後の教育に役立ててほしいと思います。

9 幼稚園・こども園・保育園・小学校及び小学校・中学校情報交換会

令和5年5月にこの交換会を開催して小学校1年生及び中学校1年生の児童生徒にかかわる諸課題や支援方法について話し合い、入学時において校種間のスムーズな移行が図れるように努めており、入学後の各校園連携の足がかりとなっていることを高く評価いたします。

10 幼稚園・こども園・保育園・小学校連携協議会

幼稚園・小学校の教職員とこども園・保育園の保育教諭・保育士が、小学校入学時における子どもの成長の様子や指導の在り方について相互理解と連携強化を目的とした研修会を6月に南小学校、11月に北幼稚園で開催し、公開保育の参観や研修会・情報交換を行い、接続期の子どもの見取りについて情報を共有するとともに、幼稚園・こども園・保育園・小学校のスムーズな接続について研修を深めを高く評価いたします。

11 いじめ防止子ども会議

榛東中学校生徒会が中心となり、小学校の児童会をリードしながら、子どもたち自身でいじめをなくすために自分たちでできることを話し合うこの事業は、榛東村独自の素晴らしい事業であると考えます。

令和5年度は、令和6年1月に榛東中学校にて開催され、教育委員も協議に参加し、児童生徒と一緒に話し合いを行ったことで、いじめ防止に向けた主体的な取組を一層推進されたことを高く評価いたします。

② 学校給食センターにおける事業

1 給食業務

榛東村では、学校給食法の目的及び目標に基づいて幼稚園児、小・中学校児童生徒及び教職員に完全給食を実施しており、調理・配送業務等を民間委託として、作業効率の改善を図っています。

異物混入の防止に努めたり、食品の検品・洗浄作業に注意を払ったり、施設及び調理器具の総点検を実施し、必要に応じて修繕・買換えを行ったり、食中毒を防止するため、調理器具等の洗浄・消毒、調理品の温度管理、調理員の手洗いを徹底や各種衛生検査を実施したり、職員に対して研修を行うことで衛生管理についての意識を高めていることを高く評価いたします。

また、給食だよりの発行や給食時間の放送を通して、食に関する様々な知識や情報を子どもたちに提供したり、地域の特色を生かした郷土食や、季節の行事に由来した行事食等を献立に取り入れたりすることで、日本の伝統的な食文化に対し理解を深められるよう努めていることは素晴らしいと思います。

II. 社会教育に関する事務事業

③ 生涯学習における事業

1 社会教育委員会会議等

榛東村社会教育委員会会議では、今年度から「生涯学習講座の事業研究」を開始し、施設等の視察により、村内外の事業の現状把握に努めていることを評価いたします。

また、講師を招いて「社会教育委員の役割」について講演会を開催し、ワークショップを行い、社会教育委員が取り組むべき事の共有を図ったことは素晴らしいと思います。

2 村の音楽会の開催

地域ふれあい「村の音楽会」と題して、陸上自衛隊第12音楽隊、榛東中学校吹奏楽部の演奏による音楽会は、毎年多くの村民が参加して、子どもから高齢者まで楽しめる事業です。

昨年はコロナ感染症拡大防止により中止となって残念でしたが、今年度は令和5年12月3日に350名を超える参加者があり、盛大に開催され、参加者から「とても楽しかった」との声も聞かれて良かったと思います。

3 文化講演会の開催

コロナ感染症拡大の懸念から、昨年度中止となった事業ですが、今年度はスポーツジャーナリストの増田明美氏を講師に招き「自分という人生の長距離ランナー」と題して講演会を開き、250名を超える参加者から高い評価を得られたことはとても良かったと思います。

4 家庭教育支援事業

地域住民の学習要求に応え、幅広い分野にわたる学習機会を提供する取り組みとして「しんとうママフェス」を開催し、86名もの参加を得て、出店ブースや楽器演奏を行い、1600名を越える参加者が楽しむことができました。

また、「しんとうパパフェス」には8組20名の参加を得て、親子ウォークラリーを実施して、親子関係を深めたことは良かったと思います。

今後も、地域ぐるみの子育てイベントであるこの事業を継続させて、地域のつながりの強化を図っていただきたいと思います。

5 放課後子ども教室

平成27年度から、放課後の子どもたちの時間をより豊かな体験の場となることを目的で実施しているこの事業は、文部科学省・群馬県教育委員会の補助金を受け、年を重ねるごとに充実してきています。

令和5年度は、「放課後活動サポーター」の協力で、宿題や昔あそび、工作等の活動を通して地域と児童の交流を図ったり、「休日わくわく教室」ではプログラミング教室などの活動を行ったことを高く評価いたします。

6 社会人権教育

榛東村では憲法や教育基本法にある基本的人権を尊重する精神に基づき、人権問題を正しく理解・認識することに、村全体で真剣に取り組んでいることは素晴らしいと思います。

今年度は人権教育推進協議会全体会が開催され、全体会の後に3つの部会が開かれました。

学校人権教育部会では、「人権集中学習」「人権集中月間」の期間を設定し、あいさつ、人権作文等の学習を行い、児童、生徒の人権感覚を養い、いじめ・差別の解消の為の意識の高揚に努め、11月24日に北小学校にて人権(同和)教育公開授業(保育)研究会を実施しました。

社会人権教育部会では、夏休み期間中に各自治会の自治会長、青少健会長、育成会長、人権教育推進委員合同により実施していた「人権教育ビデオ視聴会」を開催しました。

広報部会では、村民一般に対して人権問題解消の啓発として、広報紙を発行(広報「ひかり」、「人権作文集」)。また、人権ポスターの展示を行い、人権尊重の意識の高揚に努めました。

これからも人権意識を高めるため、この活動を充実させてほしいと思います。

7 成人の日の記念行事

榛東村在住の令和5年4月2日から令和6年4月1日に20歳になれる方及び平成30年度に榛東中学校を卒業された方を対象に「榛東村二十歳のお祝い式典」と称し、村として祝う事業ですが、今年度は、昨年度の20%増の70.7%の出席率があったことはとても良かったと思います。

今後とも行事の内容に検討を加え、新成人となった若者にとって、心に残る行事となることを期待しています。

8 防災中枢機能施設整備事業

災害に強いまちづくりを進めるため、中央公民館(中央コミュニティセンター)と学校給食センターの両方の機能を併せ持つ、「防災中枢機能施設」を整備するための事業を、防衛省「まちづくり支援事業」として、令和5年度は、本体工事として、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の各工事を行ない、施設整備に努めたことを高く評価いたします。

9 社会体育施設整備事業【令和5年度しんとう総合グラウンドテニスコート人工芝補修工事】

人工芝が摩耗してきた「しんとう総合グラウンドテニスコートA面」の人工芝の張替えを行い、コートの貸し出しができるようになったことはとても良かったと思います。

④ 中央公民館における事業

1 教室の開催

地域住民の学習ニーズに応え、今年度は絵手紙教室・ウクレレ教室・寄せ植え教室・リズム体操教室・実践書道教室などが開催され、住民に学習の機会を与えるとともに、住民間の交流が図られたことはとても良かったと思います。

2 図書活動

図書室利用者の声を反映させた図書の購入に努め、一般利用者や小中学生等の学習の場としても活用されたことは良かったと思います。また、夏休みおはなし会や読書感想画コンクールが開かれ、多くの人々の学習の場となったことは素晴らしいと思います。

⑤ 南部コミュニティセンターの事業

1 教室・催事等の開催

今年度は、地域住民の学習ニーズに応え、和太鼓教室・おもしろ科学教室・おせち料理教室・クレイアート教室・親子クッキー作り教室・親子ケーキ作り教室・子ども料理教室・毎日食べたいパン作り教室といったたくさんの教室が開かれ、住民に学習の機会を与えながら住民間の交流が図られたことはとても良かったと思います。

2 図書活動

利用者の声を反映させた図書の購入により、多くの小中学生や高校生の学習の場としても活用され、たくさんの貸し出しがあったこと及び、読書啓発事業として「読書感想画コンクール」を実施したことはとても良かったと思います。

⑥ 文化財・耳飾り館における事業

1 文化財事業（一般）

令和5年度は、村内の民俗芸能保存団体7団体に対して、活動費補助金の交付を行い、村の大切な文化財の保護に努め、歴史文化に対する村民の意識の高揚を図ったことはとても良かったと思います。

2 文化財事業（埋蔵）

令和5年度は、開発に伴う埋蔵文化財調査を行ったり、文化財保護法に基づいた指導・調整、試掘調査を行い、文化財の保護や文化財に対する村民の意識を高めたことを高く評価いたします。

3 耳飾り館事業

今年度は展示事業として村内で出土した代表的な古墳出土品である大刀、鏝、柄頭、鉄鏃など見ごたえのある出土品を展示したり、企画展として「下新井遺跡展」「昔の暮らし展」を開いたり、小学生を対象に、ウッドビーズのアクセサリ・お守りペンダント・勾玉・土製耳飾り・アンギン編みなどの体験イベントを行うなど、村の文化財に関心を持ってもらえるように努めたことは素晴らしいことであり、高く評価いたします。

Ⅲ. 地域スポーツの振興

⑦ 社会体育活動

1 榛東村スポーツ協会委託事業（各スポーツ専門部の活動）

例年、榛東村にある「しんとう総合グラウンド」や「しんとうスポーツアリーナ」等の充実した施設を活用して、村民がスポーツ活動を展開しており、令和5年度はスポーツ協会定期総会や支部長会開催から始まり、各専門部の多くの大会が開催されたことは良かったと思います。

今後も榛東村の充実した施設を活用され、村民のスポーツの振興に、この事業が大いに役立つことを期待しております。

2 健康・スポーツ教室等事業報告（教育委員会事務局主管事業）

令和5年度は、ボディメイク健康教室や脱メタボ健康教室が開催され、多数の参加者があったことは、とても良かったと思います。

3 スポーツ推進委員主管事業

榛東村のスポーツ振興を図る目的のスポーツ推進委員主管事業として、例年多くの事業が行われていますが、令和5年度は、スマイルボーリング大会やノルディックウォーキング教室など、昨年度中止となった事業が再び行われるようになったことはとても良かったと思います。

4 榛東村スポーツ少年団育成事業

令和5年度は、11単位団（10種目）がスポーツ少年団に県登録されており、生涯スポーツの普及やスポーツを通して青少年の健全育成が図られていることは素晴らしいと思います。

5 しんとうスポーツクラブ事業

平成22年に設立した「しんとうスポーツクラブ」は、総合型スポーツクラブとして、バレーボール、バドミントン、インディアカ、チアダンス、ギッズフットサル、ノルディックウォーキング教室などの各教室を、コロナ感染防止に努めながら開催してスポーツの振興に努めてたことを高く評価いたします。

6 榛東村各種スポーツ競技大会奨励金

全国規模のスポーツ競技大会出場者への激励を目的に「榛東村各種スポーツ競技大会奨励金」の交付を毎年行っているこの事業は、村民のスポーツ振興に結びつく、とても良い事業であると思います。

令和5年度は、関東大会出場が14件、全国大会出場が19件という素晴らしい成績が出たことはとても良かったと思います。

7 社会体育施設・学校開放施設利用状況

榛東村にあるしんとう総合グラウンドやしんとうスポーツアリーナ、人工芝サッカー場などの社会体育施設を、毎年段階的に整備して施設の充実に努めており、今年度の利用者数が昨年度の1.3倍に増加していることは素晴らしいと思います。

今年度、熱中症予防対策としてミストシャワーを活用するなど、今後も施設の改善・充実に努めて、村のスポーツ振興につなげてほしいと思います。

おわりに（総評）

令和5年度は、新型コロナウイルスが5類となり、今まで中止となっていた多くの行事が再び行われるようになったことはとても良かったと思います。

しかしながら、完全に終息したとは言えない状況にあり、教育委員会が学校教育や社会教育をどのように推進していくか、たいへん難しいこともあったことと拝察いたします。

榛東村教育委員会事務点検・評価報告書を拝見いたしました。そのような社会状況の中であり、教育の成果が向上するように様々な工夫を凝らして取り組んでいる姿勢が随所に見られました。

学校教育等に関する事務事業では、教育委員会及び校園長会議を定期的で開催したり、園及び小中学校の連携会議を設けたりして、教育委員会の指導方針の伝達に努め、子どもたちに関する情報の共有を心がけた教育が推進されています。

中でも、教育研究所や幼・保・小・中の連携を考えた事業に加え、ぐんぐんスクール・ぐんぐん土曜塾・ぐんぐんサマー塾等の榛東村独自の事業により、教職員の指導力向上ならびに子どもたちの学力の向上に真剣に取り組んでいることはとても素晴らしいと思います。

また、榛東村の教育の柱の一つでもある人権教育では、講演会や研修会により、教員の指導力の向上に努めたり、小・中学校の児童生徒自身でいじめ問題を考える事業を行うなど、教育委員会が中心となり、人権問題の解決に努力している姿が随所に見られました。

さらに、学校施設の改善や給食業務の充実により、子どもたちが安全で安心した生活を送れるように取り組んでいることはとても素晴らしいと思います。

社会教育に関する事務事業においても、未だにコロナが終息していない中にあり、感染の防止対策を講じながら、「村の音楽会の開催」や「文化講演会の開催」「放課後子ども教室」「社会人権教育」、「成人の日の記念行事」などの事業を行い、参加者から高い評価を得るなど、それぞれに大きな成果を上げられたことを高く評価したいと思います。

令和5年度は、数年間中止となった多くの事業が再開となり、榛東村教育委員会でも、その事業内容の改善や運営には、多くの労力を費やしたことと思います。そしてそれぞれに素晴らしい成果を上げられたことに敬意を表します。

地域スポーツの振興においても、とても恵まれた榛東村のスポーツ施設を有効に活用していくつもの事業が再開され、村全体に活気が戻ってきたように見受けられます。

今後、新型コロナウイルスが終息した後は、この充実した村の施設を活用して、再び村民のスポーツがより一層推進されることを期待しております。

以上、教育委員会が執行しました事業につきまして、「事務点検・評価報告書」の内部評価表に基づき評価いたしました。総合的にたいへん良好であると評価いたします。

教育に対して素晴らしい識見のある新しい教育長を迎え、榛東村の教育が一段と向上することと思います。

これからも村民のためによりよい教育行政が推進されますように、教育委員並びに教育委員会事務局、関係各位のご活躍をお祈りするとともに、榛東村のご発展を祈念申し上げまして外部評価とさせていただきます。

令和6年8月1日

NIPPONおもてなし専門学校非常勤講師

竹内 利文